

フォークダンス

フォークダンスは、日本の民踊や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて簡単なステップや動きで踊ることで、互いのよさを生かし合って仲間と交流して踊る楽しさや喜びを味わうことができる運動です。本単元例は、外国の踊りを取り上げて、それぞれの踊りの特徴を捉え、基本的なステップで音楽に合わせて楽しく踊って交流するとともに、踊りの由来や背景を理解することで、世界の文化に触れながら踊りで交流する力を培うことができる授業を展開するようにしています。

単元の目標

- (1) 外国のフォークダンスの踊り方を理解するとともに、踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて簡単なステップや動きで踊ることができるようにする。
- (2) 自己やグループの課題の解決に向けて、踊りの特徴を捉えた練習や発表・交流の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。
- (3) フォークダンスに積極的に取り組み、互いのよさを認め合い助け合って踊ったり、場の安全に気を配ったりすることができるようにする。

指導と評価の計画(5時間)

時間	1	2
ねらい	学習の見通しをもつ	フォークダンスの踊り方を理解し、
学習活動	オリエンテーション 1 集合、挨拶、健康観察をする 2 単元の学習の見通しをもつ ○単元の目標と学習の進め方を理解する。 ○学習の約束を理解する。 3 本時のねらいを理解して、目標を立てる 4 場の準備をする ○場の準備と片付けの役割分担を理解する。 5 心と体をほぐす ○心と体をほぐす運動の行い方を理解する。 6 フォークダンスをする ○フォークダンスの行い方を理解する。 ○学級全体やグループで簡単なフォークダンスを踊る。	1 集合、挨拶、健康観察をする 2 本時の 4 心と体をほぐす 5 踊り方を理解して、フォークダンスをする ○踊りの由来や背景などを理解する。 ○教師の説明に合わせてグループでゆっくり 【マイム・マイム】 ・シングルサークルで、みんなで手をつなぎ、かけ声をかけて力強くステップを踏みながら移動して踊る 6 踊りの特徴を捉えて、フォークダンスをする ○グループで、課題に応じた練習の方法を選択 ○学級全体で、音楽に合わせて楽しく踊って
	7 本時を振り返り、次時への見通しをもつ 8 整理運動、場の片付けをする 9 集合、健康観察、挨拶をする	
評価の重点	① 観察・学習カード	
	⑤ 観察・学習カード	④ 観察・学習カード

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①フォークダンスの行い方について、言ったり書いたりしている。 ②フォークダンスの踊り方の特徴を捉え、基本的なステップや動きを身に付けて、音楽に合わせてみんなで楽しく踊って交流することができる。	①自己やグループの課題を見付け、その課題の解決の仕方を考えたり、課題に応じた見合いや交流の仕方などを選んだりしている。 ②課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	①フォークダンスに積極的に取り組もうとしている。 ②互いの動きや考えのよさを認め合おうとしている。 ③仲間と助け合おうとしている。 ④場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たそうとしている。 ⑤場の危険物を取り除いているとともに、場の安全に気を配っている。

3	4	5
特徴を捉えた踊り方を工夫して、音楽に合わせてみんなで楽しく踊る		学習のまとめをする
ねらいを理解して、目標を立てる 3 場の準備をする		
と踊りながら、踊り方を理解する。		
【コロボチカ】 ・パートナーと組んで軽快なステップで動きを合わせたり、パートナーチェンジをスムーズに行ったりしながら踊る 【グスタフス・スコール】 ・前半の厳かな挨拶の部分と後半の軽快なスキップやアーチくぐりなどの変化を付けて、スムーズに隊形移動しながら踊る		学習のまとめ 5 フォークダンスを楽しく踊って交流する ○グループで、フォークダンスをする。 ○交流の仕方を選び、みんなで楽しくフォークダンスをする 6 単元を振り返り、学習のまとめをする 7 整理運動、用具の片付けをする 8 集合、健康観察、挨拶をする
んで、練習をする。交流する。		
健康観察、挨拶をする		
		② 観察
① 観察・学習カード	② 観察・学習カード	
③ 観察・学習カード	② 観察・学習カード	① 観察・学習カード

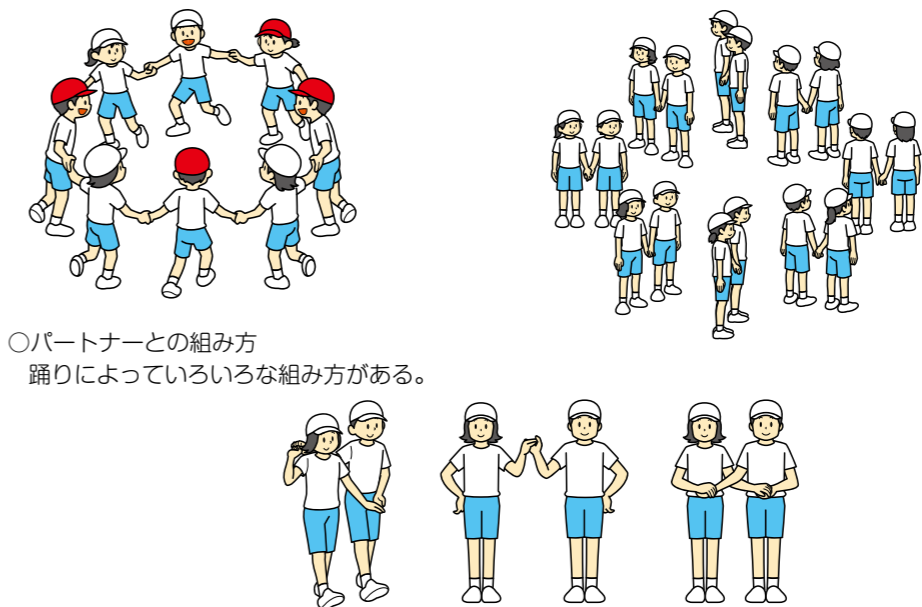
本時の目標と展開① (1/5時間)

本時の目標

- (1) フォークダンスの行い方を理解することができるようにする。
- (2) 自己やグループの課題を見付け、その課題の解決の仕方を考えたり、課題に応じた見合いや交流の仕方などを選んだりすることができるようにする。
- (3) 場の安全に気を配ることができるようにする。

本時の展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意点
5分	1 集合, 挨拶, 健康観察をする 2 単元の学習の見直しをもつ ○単元の目標と学習の進め方を理解する。 ○グループを確認する。 ○学習の約束を理解する。	● 掲示物を活用するなどしながら、分かりやすく説明する。 ● 学習をするグループを事前に決めておく。
	運動の約束の例 ・場の安全に気を配りましょう。 ・手をつなぐときは、優しくつなぎましょう。 ・かけ声は明るく元気にかけましょう。	・互いの動きや考えのよさを認め合いましょう。 ・仲間と助け合い、役割を果たしましょう。 ・みんなで楽しく踊って交流しましょう。
15分	3 本時のねらいを理解して、目標を立てる フォークダンスの学習の進め方を理解し、学習の見直しをもつ ○本時のねらいを理解して、自己の目標を立てる。	● 学習カードを配り、使い方を説明する。
	4 場の準備をする ○場の準備と片付けの役割分担を理解する。 ○グループで協力して準備をする。	● 役割分担や安全な準備や片付けの仕方を説明する。 ● 安全に気を配っている様子を取り上げて、称賛する。
15分	5 心と体をほぐす ○心と体をほぐす運動の行い方を理解する。 ○学級全体やグループで心と体をほぐす。	● けがの防止のための適切な準備運動の行い方について、実際に動いて示しながら説明する。
	心と体をほぐす運動の例 ○体をほぐす運動 … ゆったりとした音楽に合わせて、体の各部位を曲げたり伸ばしたり反らしたりする。 ○心をほぐす運動 … 弾むようなリズムの音楽に合わせて、ペアやグループで手をつないで関わり合う運動をする。 ・グループで ・二人組で	
	 <p>歩いたりスキップをしたりして回る、立つ・座る、集まる・離れる など</p> <p>両手をつないで揺れる、回る、前後に移動する など</p>	

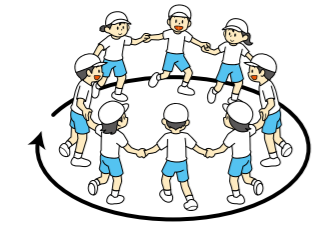

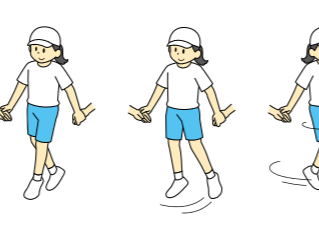

20分	6 フォークダンスをする ○フォークダンスの行い方を理解する。	● フォークダンスの行い方について、学習資料やICT機器を活用したり、実際に動いて示したりしながら説明する。
	フォークダンスの行い方の例 ○フォークダンスの特徴 ・外国のフォークダンスは、踊りが生まれた地域の風土や歴史に根ざした独特の踊り方があります。 ・踊りによって音楽や踊り方が異なり、一つ一つの動作には、由来や踊りに込められた心情があります。	
5分	7 本時を振り返り、次時へを見直しをもつ 本時の振り返り ・フォークダンスの行い方について、理解したことを書きましょう。 ・単元の学習で身に付けたいことなど、自己の目標を書きましょう。 ・安全に気を配ることについて、気付いたことや考えたことを書きましょう。	● 振り返りを学習カードに記入するように伝えるとともに、気付きや考えのよさを取り上げて、称賛する。 ● 整理運動の行い方について、実際に動いて示しながら説明するとともに、けががないかなどを確認する。
	8 整理運動, 場の片付けをする 9 集合, 健康観察, 挨拶をする	

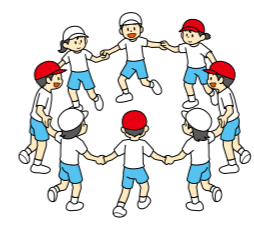
本時の目標と展開② (2/5時間)

本時の目標

- (1) フォークダンスの行い方を理解することができるようにする。
- (2) 自己やグループの課題を見付け、その課題の解決の仕方を考えたり、課題に応じた見合いや交流の仕方等を選んだりすることができるようにする。
- (3) 場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たすことができるようにする。

本時の展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意点
10分	1 集合, 挨拶, 健康観察をする 2 本時のねらいを確認する	
	マーム・マイムの踊り方を理解し, 特徴を捉えた踊り方を工夫して, みんなで楽しく踊ろう ○本時のねらいを理解して, 目標を立てる。 3 場の準備をする ○グループで協力して, 準備をする。 4 心と体をほぐす ○学級全体やグループで心と体をほぐす。 ○簡単なフォークダンスを踊る。(ジェンカなど)	●学習カードを配り, 立てた目標を記入するように伝える。 ●役割を果たそうとしている様子を取り上げ, 称賛する。 ●けがの防止のために適切な準備運動としての心と体をほぐす運動を行うように伝える。 ●運動に応じてゆったりとした曲や軽快なリズムの曲をかける。
15分	5 踊り方を理解して, フォークダンスをする ○マーム・マイムの踊りの由来や背景などを理解する。 マーム・マイムの踊りの由来や背景などの例 ・マーム・マイムは, イスラエルの踊りです。 ・砂漠地帯の開拓農民が, 水源を発掘したことを祝った踊りです。水の少ない環境で生きる人たちが, 水を見つけたときの喜びを感じて踊りましょう。 ○教師の説明に合わせてグループでゆっくりと踊りながら, マーム・マイムの踊り方を理解する。	●マーム・マイムの踊りの由来や背景について, 学習資料やICT機器などを活用しながら説明する。 ●マーム・マイムの踊り方について, 学習資料やICT機器を活用したり, 実際に動いて示したりしながら説明する。
	マーム・マイムの踊り方の例 ○ステップをしながら時計回りに移動する動き  ○円の中央に移動して戻る動き  ○その場でのステップと手拍子の動き   ・両手を上げながら四歩で集まり, 四歩で戻る。 ・ステップと手拍子の動きを合わせる。 円の中央に移動する・戻る動きのときに, 「マーム・マイム・マイム・マイム・ウマ・イム・ベッサツソン (水だ, 水だ, 嬉しいな)」と, 元気よくかけ声をかけましょう。	

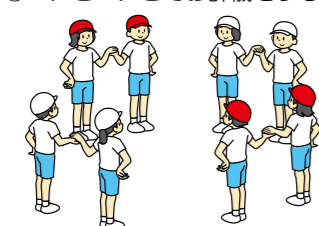
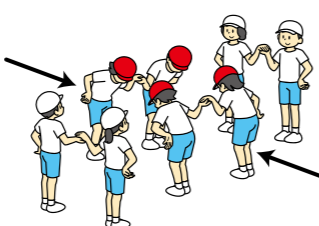
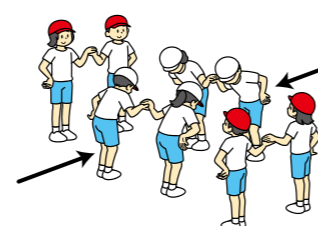
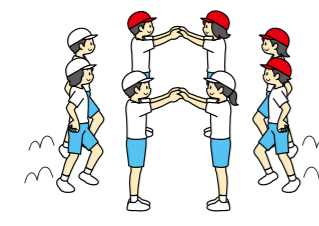
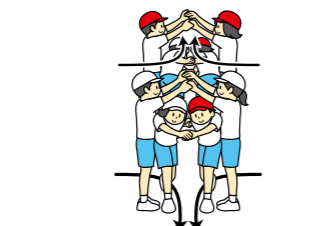
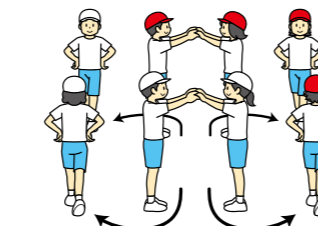
15分	6 踊りの特徴を捉えて, フォークダンスをする ○フォークダンスの練習の仕方を理解する。 ●フォークダンスの練習の仕方について, 学習資料やICT機器を活用したり, 実際に動いて示したりしながら説明する。 グループでの練習の仕方の例 ○踊りの全体の流れを確認したい場合は, 音楽に合わせて大まかであっても通して踊る。 ○課題を見付けた場合は, その部分をグループでゆっくりと踊ったり, 繰り返して踊ったりする。  見合いや交流の仕方の例 ○グループ内で更に2グループに分かれ交互に踊って見合ったり, 並び順を変えて踊って交流したりする。 ○別のグループと交互に踊って見合ったり, 一緒に踊って交流したりする。 ○グループで, 課題に応じた練習の仕方を選んで練習をする。 ●適切な練習の仕方を選んでいることを取り上げて, 称賛する。 ◆学習評価◆ 思考・判断・表現① ①自己やグループの課題を見付け, その課題の解決の仕方を考えたり, 課題に応じた見合いや交流の仕方等を選んだりしている。 ➔ 自己やグループの課題を見付け, 見付けた課題の解決の仕方を考えたり, 課題に応じた見合いや交流の仕方を選んだりしている姿を評価する。(観察・学習カード) ●考えたことを伝えていることを取り上げ, 称賛する。 ◎活動を工夫することが苦手な児童への配慮の例 ➔ 自己やグループの課題を見付けられるような話を促し, 見付けた課題に応じた練習の行い方, 見合いや交流の仕方を紹介することで, 課題に応じた方法を選べるようにするなどの配慮をする。 ●考えたことを伝えていることを取り上げ, 称賛する。	
	7 本時を振り返り, 次時への見通しをもつ 本時の振り返り ・マーム・マイムの踊りの由来や背景, 踊りの特徴などについて, 理解したことを書きましょう。 ・見付けた自己やグループの課題と選んだ練習の仕方を書きましょう。 ・分担された役割を果たすことについて, 気付いたことや考えたことを書きましょう。 ○振り返りを発表して, 仲間に伝える。 ●振り返りを学習カードに記入するように伝えるとともに, 気付きや考えのよさを取り上げて, 称賛する。 ◆学習評価◆ 主体的に学習に取り組む態度④ ①場の設定や用具の片付けなどで, 分担された役割を果たそうとしている。 ➔ グループで分担した場の準備や片付けの役割を果たそうとしている姿を評価する。(観察・学習カード) ◎役割を果たすことに意欲的でない児童への配慮の例 ➔ 個別に関わり, 分担された役割を確認してその行い方を説明したり, グループの仲間や教師と一緒にいたりして役割を果たすようにするなどの配慮をする。 ●適切な整理運動を行うように伝えるとともに, けががないかなどを確認する。	
5分	8 整理運動, 場の片付けをする 9 集合, 健康観察, 挨拶をする	

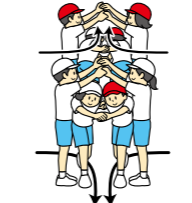
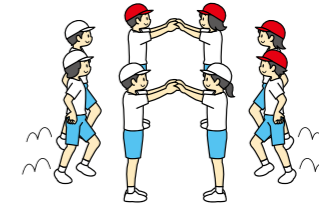
本時の目標と展開③ (4/5時間)

本時の目標

- (1) フォークダンスの行い方を理解することができるようにする。
- (2) 課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。
- (3) 互いの動きや考えのよさを認め合うことができるようにする。

本時の展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意点
10分	1 集合, 挨拶, 健康観察をする 2 本時のねらいを確認する グスタフス・スコール踊り方を理解し, 特徴を捉えた踊り方を工夫して, みんなで楽しく踊ろう ○本時のねらいを理解して, 目標を立てる。 3 場の準備をする ○グループで協力して, 準備をする。 4 心と体をほぐす ○学級全体やグループで心と体をほぐす。 ○簡単なフォークダンスを踊る。(ジェンカなど)	●学習カードを配り, 立てた目標を記入するように伝える。 ●役割分担や安全な準備の仕方を確認する。 ●けがの防止のために適切な準備運動としての心と体をほぐす運動を行うように伝える。 ●運動に応じてゆったりとした曲や軽快なリズムの曲をかける。
	5 踊り方を理解して, フォークダンスをする ○グスタフス・スコールの踊りの由来や背景などを理解する。 グスタフス・スコールの踊りの由来や背景などの例 ・グスタフス・スコールは, スウェーデンの踊りで, 貴族が国の王を称えた踊りです。 ・背筋を伸ばして姿勢をよくしたり, 敵かな挨拶をしたりして, 舞踏会で貴族が優雅に踊る感じで踊りましよう。 ○教師の説明に合わせてグループでゆっくりと踊りながら, グスタフス・スコールの踊り方を理解する。	●グスタフス・スコールの踊りの由来や背景について, 学習資料やICT機器などを活用しながら説明する。 ●グスタフス・スコールの踊り方について, 学習資料やICT機器を活用したり, 実際に動いて示したりしながら説明する。
15分	グスタフス・スコールの踊り方の例 ○ペアとペアとでお辞儀をする動き  <ul style="list-style-type: none"> ・4ペアで四角形をつくり, 中央を向く。  <ul style="list-style-type: none"> ・2ペアが前進し, お辞儀をして戻る。  <ul style="list-style-type: none"> ・もう一方の2ペアもお辞儀をする。 ○パートナーチェンジをしてアーチをくぐる動き, 元のペアに戻って回る動き  <ul style="list-style-type: none"> ・2ペアはスキップで前進する。別の2ペアはアーチをつくる。  <ul style="list-style-type: none"> ・前のペアとパートナーチェンジをしてアーチをくぐる。  <ul style="list-style-type: none"> ・チェンジしたパートナーと分かれて元の位置へ移動する。 	●グスタフス・スコールの踊り方について, 学習資料やICT機器を活用したり, 実際に動いて示したりしながら説明する。

15分	6 踊りの特徴を捉えて, フォークダンスをする ○フォークダンスの練習の仕方を理解する。 ●フォークダンスの練習の仕方について, 学習資料やICT機器を活用したり, 実際に動いて示したりしながら説明する。 グループでの練習の仕方の例 ○踊るペアの順番, 移動やパートナーチェンジの流れを確認したい場合は, 音楽はかけずに踊りながら, グループ全員で確認する。  ○前半と後半の踊りに変化を付ける工夫をしたい場合は, 音楽をかけて通して踊る中で, 変化のタイミングを確認する。 	●適切な練習の仕方を選んでいることを取り上げて, 称賛する。 ●互いの動きや考えを認めようとしていることを取り上げ, 称賛する。 ◆学習評価◆ 主体的に学習に取り組む態度 ②互いの動きや考えのよさを認めようとしている。 ➔一緒に踊っている仲間や他のグループの動きや考えのよさを認めようとしている姿を評価する。(観察・学習カード) ◎互いの動きや考えのよさを認めることに意欲的でない児童への配慮の例 ➔仲間の発表を聞こうとしなかったり仲間の動きを否定することを言ったりする児童には, 人はそれぞれに考えに違いがあり, それを認めることが大切であることを伝えるとともに, それぞれの考えのよさを取り上げて気付くようにするなどの配慮をする。
	7 本時を振り返り, 次時への見通しをもつ 本時の振り返り ・グスタフス・スコールの踊りの由来や背景, 踊りの特徴などについて, 理解したことを書きましよう。 ・見付けた自己やグループの課題と選んだ練習の仕方を書きましよう。 ・互いの動きや考えのよさを認め合うことについて, 気付いたことや考えたことを書きましよう。 ○振り返りを発表して, 仲間に伝える。 ●振り返りを学習カードに記入するように伝えるとともに, 気付きや考えのよさを取り上げて, 称賛する。	●振り返りを学習カードに記入するように伝えるとともに, 気付きや考えのよさを取り上げて, 称賛する。
5分	8 整理運動, 場の片付けをする 9 集合, 健康観察, 挨拶をする	◆学習評価◆ 知識・技能 ①フォークダンスの行い方について, 言ったり書いたりしている。 ➔フォークダンスは踊りによっていろいろな音楽や踊り方があることや, 踊りの特徴を捉えてみんなで楽しく踊ることなどについて, 発表したり学習カードに記入したりしていることを評価する。(観察・学習カード) ◎フォークダンスの行い方を理解することが苦手な児童への配慮の例 ➔個別に関わり, フォークダンスの行い方のポイントについて対話しながら確認をするなどの配慮をする。 ●適切な整理運動を行うように伝えるとともに, けががないかなどを確認する。

本時の目標と展開④ (5/5時間)

本時の目標

- (1) フォークダンスの踊り方の特徴を捉え、基本的なステップや動きを身に付けて、音楽に合わせてみんなで楽しく踊って交流することができるようにする。
- (2) 課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。
- (3) フォークダンスに積極的に取り組むことができるようにする。

本時の展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意点
10分	1 集合, 挨拶, 健康観察をする 2 本時のねらいを確認する	
	フォークダンスをみんなで楽しく踊って交流して、学習のまとめをしよう	
25分	3 場の準備をする 4 心と体をほぐす ○学級全体やグループで心と体をほぐす。 ○簡単なフォークダンスを踊る。(ジェンカなど)	●学習カードを配り、立てた目標を記入するように伝える。 ●役割分担や安全な準備の仕方を確認する。 ●けがの防止のために適切な準備運動としての心と体をほぐす運動を行うように伝える。 ●運動に応じてゆったりとした曲や軽快なリズムの曲をかける。
	5 フォークダンスを楽しく踊って交流する ○楽しく踊って交流する行い方を理解する。	●楽しく踊って交流する行い方を説明する。
<p>楽しく踊って交流するときの約束の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日はみんなで、フォークダンスの世界旅行に出かけましょう。 ・これまでに学習したフォークダンスの踊り方を確認して、みんなで楽しく踊りましょう。 ・他のグループと一緒に踊ったりパートナーを替えながら踊ったりして、仲間と交流しましょう。 		
25分	○単元で学習したフォークダンスのそれぞれの踊りの特徴を確認する。 ・踊りの由来や背景 ・基本的なステップや動き ○グループで、フォークダンスをする。 ・マイム・マイム ・コロボチカ ・グスタフス・スコール	●世界地図を掲示するなどして、世界旅行のイメージを広げる。 ●積極的に取り組もうとしている様子を取り上げて、称賛する。
	○交流の仕方を選び、みんなで楽しくフォークダンスをする。 ・他のグループと一緒に踊る ・パートナーを変えながら踊る など	<p>◆学習評価◆ 主体的に学習に取り組む態度 ①フォークダンスに積極的に取り組もうとしている。</p> <p>➡ フォークダンスをみんなで楽しく踊って交流することなどに積極的に取り組もうとしている姿を評価する。(観察・学習カード)</p> <p>◆学習評価◆ 知識・技能 ②フォークダンスの踊り方の特徴を捉え、基本的なステップや動きを身に付けて、音楽に合わせてみんなで楽しく踊って交流することができる。</p> <p>➡ 基本的なステップや動きで学習したフォークダンスを楽しく踊って交流している姿を評価する。(観察・学習カード)</p>
10分	6 単元を振り返り、学習のまとめをする	
	<p>単元の学習の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで楽しく踊って交流をして、気付いたことや考えたことを書きましょう。 ・単元の学習の目標で、達成したことを書きましょう。 ・学習したことで、今後の学習や日常生活の中で取り組んでいきたいことを書きましょう。 	
10分	○振り返りを発表して、仲間に伝える。	●振り返りを発表したり学習カードに記入したりするように伝えるとともに、気づきや考えのよさを取り上げて、称賛する。
	7 整理運動, 場の片付けをする	●適切な整理運動を行うように伝えるとともに、けががないかなどを確認する。
	8 集合, 健康観察, 挨拶をする	

2学年間にわたって取り扱う場合

【第5学年における指導と評価の計画(例)】

時間	1	2	3	4	5
ねらい	学習の見通しをもつ	日本の民謡の踊り方を理解し、踊りの特徴を捉えた練習や発表・交流の仕方を工夫して、みんなで楽しく踊る			学習のまとめをする
学習活動	オリエンテーション ○学習の見通しをもつ ・学習の進め方 ・学習の約束 ○心と体をほぐす ○日本の民謡 阿波踊りの踊り方を理解し、みんなで楽しく踊って交流する	○心と体をほぐす 二人組やグループで心と体をほぐす運動をする 日本の民謡 ○踊りの特徴を捉え、基本的な動きを身に付けて踊る ・踊りの由来や背景を理解する ・グループで踊りを練習する 【春 駒】 【ソーラン節】 【地域の民謡】 ○音楽に合わせてみんなが楽しく踊って交流する			学習のまとめ ○民謡交流会 学習した民謡を楽しく踊って交流する ○学習のまとめをする
	評価の重点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	① 観察・学習カード
		① 観察・学習カード	② 観察・学習カード		
	⑤ 観察・学習カード		③ 観察・学習カード		① 観察・学習カード

【低学年及び中学年での指導との円滑な接続を図るための工夫(例)】

- 「踊りの特徴を捉え、音楽に合わせて簡単なステップや動きで踊る」ために
フォークダンスは、低学年では「リズム遊び」において、その場ですぐ覚えて踊ることができるような簡単なフォークダンスを含めて指導すること、中学年では「表現」及び「リズムダンス」において、学校や地域の実態に応じてフォークダンスを加えて指導することができます。高学年では、日本の民謡や外国の踊りの踊り方の特徴を捉え、みんなで楽しく踊って交流することができるようにします。そのため高学年のはじめは、児童にとって身近な日本の民謡から、それぞれの地域で親しまれている民謡や日本の代表的な民謡を取り上げ、歌詞に伴う手振り、低く踏みしめるような足取りと腰の動き、輪踊り、一人踊りなど踊りの特徴を捉え、基本的な動きを身に付けて、音楽に合わせてみんなで楽しく踊って交流することができるようにしましょう。

(例) 踊りの特徴を捉えて、音楽に合わせてみんなで楽しく踊って交流する。
 ・春駒(岐阜県): 軽快なリズムの踊り。軽快な足さばきや手振りで踊る。
 ・ソーラン節(北海道): 力強い踊り。低く踏みしめるような足取りや腰の動きで踊る。
 ・地域で親しまれている民謡: 伝統的に伝わる踊りや盆踊りなど。和踊りや一人踊り、用具などの特徴を捉える。

【第5学年において重点を置いて指導する内容(例)】

- 知識及び技能
日本の民謡の特徴を捉え、基本的な手振り、足取りや動きを身に付けて、音楽に合わせてみんなで楽しく踊って交流することができるようにしましょう。このときの踊り方は、自己やグループで工夫するのではなく、伝承されてきた踊り方を身に付けることに留意しましょう。また、踊りの由来や背景を理解し、踊りを通して日本の地域の文化に触れるようにしましょう。
- 思考力、判断力、表現力等
踊りの特徴を捉えて踊れているか、踊りを見て課題を見付けることや、課題に応じた見合いや交流の仕方を選ぶことができるようにしましょう。また、踊りの見合いや交流で踊りの特徴が出ているかを伝えることができるようにしましょう。
- 学びに向かう力、人間性等
踊り方を身に付けたり音楽に合わせて踊って交流したりする際に、仲間と助け合おうとすることができるようにしましょう。また、みんなで踊る際に仲間とぶつからないようにしたり、踊る前に場の危険物を取り除いたりするなど、場の安全に気を配ることができるようにしましょう。